

広報いちのせき chinoseki I-Style

Stylish & Smiling, Anytime, By Your Side, With Your Life
http://www.city.ichinoseki.iwate.jp

中東北の拠点都市一関の
元気を発信するマガジン

一関版

Sep.2016 No.264

9.15



3	2	1
4		
5		

1 早朝作業に集まった第一地区地域資源保全隊の皆さん。鮮やかな花々を前に、自然と表情がほころぶ／2 同隊の佐藤良平代表／3 沿道を花壇で彩りたいと話す小野寺光子JAIいわて平泉中里支店女性部長／4 同日行われた見学会。遊水地の役割について理解を深めた／5 遊水地は、市街地を洪水から守る周囲堤と、中小洪水を防ぐ小堤で構成されている

遊水地公園の眼下に広がる、連なる山並みと人々の営み

COVER ★第一地区花壇整備、一関遊水地見学会

撮影日 8月20日 場所 一関遊水地内、一関遊水地展望台

一関市は、古くから水害に悩まされてきた地域でした。1972年から始まった一関遊水地事業は、環境と調和した水害のない地域を実現するための一大プロジェクト。事業が始まってから44年。3つの遊水地は、市街地を守る砦とりでになります。

「中里地域は古くから遊水地と関わってきました」と話すのは、第一地区地域資源保全隊の佐藤良平代表（68・中里）。同隊は8月20日、遊水地内の環境を整備する活動として、道路わきに作った花壇の草取りを行いました。この10[㍻]の花壇は5月、路肩に土を盛り、JAIいわて平泉中里支店女性部が中心となって花の苗を定植したもの。隊員たちは「徐々に花壇の面積を増やしたい」「シバザクラを咲かせてみたい」と意気込んでいます。

また、同日は、国土交通省岩手河川国道事務所が主催する「一関遊水地見学会」が北上川学習交流館あいぽーとなどで開かれました。

参加者は各施設や建設中の大林水門を視察し、現在も続いている遊水地事業に理解を深めました。

菅原トモエさん（89・宮前町）は「中里に住む知人から、水害の恐ろしさを何度も聞きました。早く完成して、水害のないまちになってほしいです」と遊水地を見つめていました。

図書館で調べよう!

レファレンスサービスは、図書館の資料などを使用して、調べ物を手伝うサービス。身近な疑問を調べてみませんか。

- ① 一関の餅文化について知りたい。
- ② 「一関地方に伝わる『もち膳』の再現」(一関もち文化研究会/編)、「写真で見る一関もち食文化推進活動」(佐藤育郎/編)、「どうしてもちをたくさん食べるの」(鈴木吉男・佐瀬寿朗/文)という本に一関のもち文化について書かれています。

10月の Books Review 本

一関図書館 ☎ 2147

村上昭夫の詩 受苦の呻き よみがえる自画像

坂本 正博/著

大東町大原で生まれた詩人・村上昭夫の生涯を、その時々創作した詩を挙げて解説した本です。宮沢賢治の作品に感慨を受け、創作を始めた村上。第8回土井晩翠賞を受賞した詩集「動物哀歌」と賢治の童話を照らし合せて検証します。物悲しくも力強い村上昭夫の詩の世界へいざなう一冊です。

募集

あなたの撮った写真を写真集に掲載しませんか

一関市写真集編集委員会事務局(川嶋印刷(株)) ☎ 464161

一関市写真集編集委員会は、一関の各地域の魅力を伝える写真集を作成します。作成にあたり、市内の風景・行事・街並み・伝統文化・暮らしなど、皆さんが撮影した写真を募集します。応募用紙に①氏名②電話番号③住所④タイトル⑤応募した理由⑥撮影者名⑦撮影場所⑧撮影年月⑨写真返却希望の有無一を記入し、作品と一緒に下記に提出してください。応募用紙は、市ホームページからダウンロードしてください。

◇応募期限…10月31日(日)まで

◇応募先…(編集委員会) ▶「岩手日日新聞社」 ☎ 021-0822 東台14-37 ▶「川嶋印刷(株)」 ☎ 029-4194 平泉町平泉字佐野原21 ▶「トーバン印刷(株)」 ☎ 029-0803 千厩町千厩字神ノ田30-9 ▶「(株)一関プリント社」 ☎ 021-0031 青葉町1-7-24 (市役所など) ▶「一関市役所広聴広報課」 ☎ 021-8501 竹山町7-2 (または各支所地域振興課)

募集

熱気球のボランティアスタッフ

一関・平泉バルーンフェスティバル実行委員会事務局 ☎ 8413

「2016熱気球ホンダグランプリ第4戦 一関・平泉バルーンフェスティバル」のボランティアスタッフを募集します。ボランティアスタッフは講習会の受講が必要です。熱気球の知識、経験は不問です。一緒にバルーンフェスティ

バルを盛り上げましょう。

【一関・平泉バルーンフェスティバル】

◇期日…10月14日(金)～16日(日)

◇場所…一関水辺プラザ

◇対象…高校生以上 *未成年者は保護者の同意が必要

◇申し込み先…9月30日(金)まで

【ボランティアスタッフ向け講習会】

◇日時…9月24日(土) 18:00～20:00

◇場所…市役所会議室棟第3会議室

◇対象…「一関・平泉バルーンフェスティバル」のスタッフとして参加希望の人

催し

バルーンDE空中散歩 in 骨寺村荘園遺跡

骨寺荘園室 ☎ 2111/骨寺村荘園交流館 ☎ 5022(当日)

骨寺村荘園遺跡内で熱気球の搭乗を体験できます。

◇日時…9月25日(日) 7:00～

◇場所…骨寺村荘園遺跡内(受付場所:骨寺村荘園交流館)

◇費用…中学生以上千円、小学生500円、幼児(未就学児童)無料

◇その他…搭乗体験は、当日の天候や定員により変更または中止になることがあります。幼児や小学生は保護者の同乗が必要です。妊婦は搭乗できません

催し

第9回いわい美術小品展

いわい美術振興協会 ☎ 1366

油彩画、水彩画、版画などを展示します。どなたでも観賞できます。入場は無料です。

◇日時…9月22日(水)～25日(土) 10:00～17:00 *25日は16:00まで

◇場所…一関文化センター

催し

第67回一関文化祭 みちのく「二夜庵」俳句大会

一関文化祭実行委員会(一関文化センター) ☎ 2121

◇日時…10月1日(土) 11:00～

◇場所…総合福祉センター

◇費用…1500円

健康

健康相談など

健康づくり課(一関保健センター内) ☎ 2160

■10月の栄養相談

離乳食の進め方や食事や栄養について、気軽に相談してください。

◇日時…10月11日(水)、24日(日) *時間はいずれも9:00～16:00

◇場所…一関保健センター

■10月の玄米ニギニギ体操

自分の体力に合わせて体操を続けることで、自然に基礎体力が向上します。一緒に健康の輪を広げましょう。申し込みは不要です。ニギニギ棒を持っている人は持参してください。

◇日時…10月5日(水)、12日(水) 13:30～

◇場所…関が丘コミュニティセンター

☎市食生活改善推進員協議会一関支部(千葉) ☎ 7316

■9・10月の一関ふれあい会

こころの病を抱えた人が集い、社会参加を目指します。2日前までに健康づくり課へ申し込んでください。

①施設外研修

北上市の「農業ふれあい公園」を見学します。

◇日時…9月30日(金) 9:30～15:30

◇場所…一関保健センター

◇費用…無料 *昼食代、入場料別途

②芋の子会・創作

芋の子汁の調理と小物入れづくりを行います。

◇日時…10月14日(金) 9:30～15:30

◇場所…一関市民センター

◇費用…材料費など300円程度

■循環器系健診・肺がん検診・肝炎ウイルス検診

◇日時…下表のとおり

月	日	時間	会場(地域)
9	20(水)	13:00~14:00	一関保健センター(山目)
		17:00~18:30	一関保健センター(山目)
	21(木)	9:30~11:00	一関市民センター滝沢分館(真滝)
		14:00~15:00	一関文化伝承館(舞川)
	28(水)	9:30~11:00	一関学習交流館(山目)
		13:00~14:00	一関学習交流館(山目)
29(木)	9:30~11:00	サン・アビリティーズ一関(真滝)	
	13:00~14:00	サン・アビリティーズ一関(真滝)	
10	30(金)	13:00~14:00	一関保健センター(山目)
		17:00~18:30	一関保健センター(山目)
	1(土)	9:30~11:00	一関保健センター(山目)
		13:00~14:00	一関保健センター(山目)

◇内容…基本健診、特定健診、後期高齢者の健診、肺がん検診、肝炎ウイルスの

検診 *前立腺がん検診を希望する場合は、特定健診・後期高齢高齢者の健診のいずれかとセットで受診してください

■大腸がん検診

◇日時…10月2日(日) 9:30～11:30

◇場所…一関保健センター

■9・10月の健康相談

◇日時…下表のとおり

月	日	時間	会場(地域)
9	16(金)	13:30~15:00	宮坂集会所(一関)
			谷趾島公民館(萩荘)
	21(水)	10:00~11:30	山手民区公民館(山目)
			新町会館(中里)
			上野公民館(厳美)
			鶴巻集会所(弥栄)
23(金)	10:00~11:30	6区集会所(中里)	
市総合福祉センター(一関)			
27(水)	10:00~11:30	東中田集会所(真滝)	
28(木)		12区公民館(舞川)	
10	5(水)	10:00~11:30	立沢集会所(山目)
			里が丘公民館(中里)
	7(金)	10:00~11:30	5区公民館(山目)
			台町公民館(一関)
11(水)	10:00~11:30	五代・竹山集会所(山目)	
12(木)		高崎会館(一関)	

News Topics 50を超える市民団体がずらり

「いちのせき市民フェスタ16」開催

「いちのせき市民フェスタ16」は8月28日、なのはなプラザで行われ、市内で活動する50以上の団体が来場者に日ごろの活動を紹介しました。会場には各団体の体験コーナー、活動紹介ブースが設けられたほか、福祉施設で作られた菓子の販売やスタンプラリーが行われ、家族連れなどでにぎわいました。

恒例のファッションショー企画「イチコレ」では、ご当地キャラ、個人や市民団体の代表者などが会場内のランウェイを華麗に歩きながら、活動内容をPR。得意の空手を披露した山口衣さん(大東小5年)は「ちょっと恥ずかしかったけど練習の成果を披露できて楽しかったです」とはにかみました。



「コドモ★ミライ」がテーマの今年の「イチコレ」は多くの子供たちが出演。最後に出演者が勢ぞろいした

各市民センターの空間放射線量の測定結果

国が示す除染の要件は、地表から1mの高さの空間放射線量が、毎時0.23マイクロシーベルト以上(年間1ミリシーベルト以上)です。◇測定日…8月16日、18日、19日

場所	測定値	場所	測定値
一関	0.06	厳美	0.06
山目	0.06	萩荘	0.05
中里	0.05	舞川	0.06
狐禅寺	0.04	弥栄	0.07

☎放射線対策室 ☎ 8331

9月25日(日)は秋の一斉清掃

10月に開かれる希望郷いわて国体・希望郷いわて大会開催にあわせて、例年より時期を早めて実施します。清掃活動に協力してください。清掃活動中は、事故やけがに注意してください。土砂上げは国の基準が示されないため実施しません。

◇期日…9月25日(日)

☎本庁生活環境課 ☎ 2111

Sun

Mon

Tue

Wed

Thu

Fri

Sat

9

September

18

●一関国際ハーフマラソン大会(市総合体育館)

19

●栄養相談(一関保健センター)
●女性相談(市女性センター)
●一関図書館休館
●市博物館休館

20

●一関図書館休館
●市博物館休館

21

22

●一関地方くだもの祭り(イオンスーパーセンター—関店)

23

24

●和算講座(市博物館)

25

●熱気球搭乗体験(骨寺村荘園遺跡)
●第16回唐梅館絵巻(東山町長坂)
●秋の一斉清掃

26

●栄養相談(一関保健センター)
●女性相談(市女性センター)
●一関図書館休館
●市博物館休館

27

28

29

●【予約制】無料法律相談(市役所)
●通常相談(市総合福祉センター)

30

1

2

●体験学習「カメラマンと楽しむピンホールカメラ」(市博物館)

3

4

●【予約制】信用生協の多重債務整理・消費者救済資金融資相談(市役所)

5

●玄米ニギニギ体操(関が丘コミュニティセンター)

6

●【予約制】無料法律相談(市役所)
●通常相談(市総合福祉センター)

7

8

●くらしとお金のセミナー&相談会(一関図書館)
●体験学習「あなたも刀鍛冶修業」(市博物館)

9

●草木染め教室(いちのせき健康の森)

10

●企画展「向井潤吉みちのくの民家」前期最終日(市博物館)

11

●多重債務者弁護士無料相談(市役所)
●一関図書館休館

12

●玄米ニギニギ体操(関が丘コミュニティセンター)

13

●【予約制】無料法律相談(市役所)
●通常相談(市総合福祉センター)

14

●一関・平泉バルーンフェスティバル(～16日・一関水辺プラザ)

10

October

●イベント情報 ●健康・保健情報 ●講座情報 ●相談情報 ●その他の情報

*一関地域以外の主なイベントも掲載しています。時間、場所など詳しくは、本誌またはI-Style9月1日号をご覧ください。

撮 っ て お き い ち の せ き

Profile No.85 犠牲者の冥福を祈り、灯籠を水面へ

「第69回水難物故者・一般物故者追悼法要と流燈会」は8月20日、磐井川堤防で行われ、水害のないまちづくりを参加者が祈りました。戦後まもない一関を襲った2つの台風。1947年のカスリン台風では100人、48年のアイオン台風では473人が死亡または行方不明となりました。流燈会に参加した早川武子さん(88)は「アイオン台風で夫の家族4人が被害を受けました。水害のないまちになるように願って今年も灯籠を流します」と水面に手を合わせていました。



編集後記

▶8月下旬に県内を縦断し、大きな被害をもたらした台風10号。被害に遭われた皆さんにお見舞い申し上げます。秋は台風シーズン。日頃からの備えを大切に。(伊東吉光)